

2.総合診療科 ジュニア・レジデントプログラム

1. 研修責任者：神谷 亨（総合診療科・感染症科部長）

2. 研修期間：12 週間、（内科系必須）（2 年目選択）

3. 目標

GIO（一般目標）

大学で学んだ医学知識や医療者としての態度を成長させて全人的医療の担い手となる医師となるために、一般内科・プライマリケア疾患全般について知識や技術を獲得する。

SBOs（行動目標）

- ・ 一般内科診療に必要な臨床上の基礎知識を述べることができる。
- ・ 外来や入院中の患者での問題を挙げ、それに対する対処を提案できる。
- ・ 緊急事態での、基礎的な処置（心肺蘇生、必要な対症療法等）を実施できる。
- ・ 医療面接を適切に実践できる。
- ・ 必要な身体診察を行い、所見を解釈できる。
- ・ 必要な検査を選択し、結果を解釈できる。
- ・ 上級医に必要かつ十分な症例提示をし、的確なコンサルトを行える。
- ・ 大リーガー医によるレクチャーを含む各種レクチャー・カンファレンスに積極的に参加する。
- ・ 機会があれば公的な学会・研究会にも積極的に参加する。
- ・ 上級医のアドバイスや指示に納得がいけないときは、自分で調べたり、納得がいくまで議論する。
- ・ 実習に訪れた医学生を丁寧に指導する。

3. 方略（LS）

LS1(OJT)

週間スケジュール：

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
～8:00	入院患者診察					
8:00～8:30	研修医レクチャーシリーズ					
8:30～10:00	チーム毎の病棟回診					
12:30～13:30	ランチタイムカンファレンス					
13:30～17:00 頃	病棟業務、自主勉強					
17:00～18:00 頃	チーム毎の入院患者レビュー					
18:00～	自主学習、院内行事、京都 GIM カンファなど					

- 1) チーム毎に毎朝病棟回診を行い、毎夕入院患者のレビューを行う。
- 2) 後期レジデント以上の医師が主治医となり、その下で担当医として患者の診察・診療にあたる。
- 3) 大リーガー医が来院しているときは、teaching-round で患者のプレゼンテーションを行ない、bedside-teaching に参加する。
- 4) 患者・家族への病状説明を主治医の指導の下で実施する。

LS2(勉強会・カンファレンス)

- 1) 毎朝開かれる研修医レクチャーに参加する。
- 2) ランチタイムカンファレンスに参加し、症例提示を行う。
- 3) 毎月開催される京都 GIM カンファに参加する。症例提示を担当することもある。
- 4) 大リーガー医の教育カンファレンスに参加する。
※いずれのカンファレンスにも定時に出席し、積極的に発言・質問を行う。

5. 評価 (EV)

- ・ 日々の回診、カンファレンスで部長以下上級医が症例提示につき形成的評価を行う。
- ・ 機会があれば、学会発表などの予演会にてプレゼンテーションについて形成的評価を行う。
- ・ 看護師による評価も紙ベースで行われるが、自己評価および指導医による総括的評価は EPOC に記録される。